

平成21年度 和歌山県文化功労賞

なが さか よし みつ
永 坂 嘉 光

住 所：和歌山県橋本市
出 身 地：和歌山県伊都郡高野町
生 年：昭和23年

◎業績及び経歴

昭和23年高野町に生まれる。昭和46年大阪芸術大学芸術学部美術学科(写真専攻)を卒業し、以後のライフワークとなる高野山を舞台とした撮影に取り組む。

昭和53年に初の個展「高野山の四季」を東京と大阪にて開催、昭和55年には初の写真集「高野山」を出版する。その後、高野山の撮影を続けるうちに、氏の関心は、高野山を開いた空海とその思想、やがては、宗教と文化へと広がりを見せ、国内の山岳霊場やインド、ブータンなどアジア各国でも撮影を行うようになる。

聖地高野山と真摯に向き合って生み出されるその作品は、見る者に「聖なる力」を感じさせると、国内のみならず、海外でも高い評価を受けるようになり、平成10年にはアメリカ・カリフォルニア州で名門といわれるウエストンギャラリーで常設展示が始まる。平成14年には同ギャラリーで「Echoes of the Spirit」と題した初の個展を開催する。また、同年、東京写真文化館でも「永遠の宇宙 高野山」と題した展覧会も開催され、作品の持つ高い精神性が、大きな反響を呼んだ。

長年にわたる創作活動が高く評価され、平成16年に日本写真芸術学会「芸術賞」、平成19年には社団法人日本写真協会「作家賞」を受賞する。

現在は大阪芸術大学教授として、後進の指導・育成にも力を注ぐ一方で、パリにおいての展覧会や写真集の計画も進められており、これまでの創作活動にさらなる広がりが期待されている。

四季を通して高野山の神髄を伝える作品群は、

和歌山県にとっても大きな財産であると言え、本県の文化振興に寄与された功績は誠に多大である。

■現在

写真家

大阪芸術大学芸術学部教授

■主な表彰歴等

平成16年 日本写真芸術学会「芸術賞」

平成19年 社団法人日本写真協会「作家賞」